

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	ボアジチ大学と連携したトルコ理解の促進： ボアジチ大学との交流事業の継続と向上のために				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	佐藤 真千子
	研究分担者	所属・職名	ボアジチ大学・准教授、広域ヨーロッパセンター客員研究員	氏名	ギョーン・クット
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	佐藤 真千子

講演題目	トルコの視点からみた現代国際情勢
------	------------------

#### 研究の目的、成果及び今後の展望

本研究では、トルコ情勢やトルコをめぐる国際関係に対する本学学生の関心や理解を深める機会を提供し、ボアジチ大学から来日した教員や留学生との直接の交流を通して内なる国際化の促進を目指しています。今回は、ボアジチ大学から来日されたギョーン・クット先生（トルコ外交史、国際政治がご専門）による特別講義や広域ヨーロッパ研究会を開催しました。学生向けに行った特別講義の内容は以下の通りです。(1) “The Russian Crisis: Black Sea and Beyond”（ロシア危機：黒海とその沿岸地域）では、ウクライナへ軍事侵攻したロシアの意図について、Russki Mir（ロシア世界）の再構築へ突き進むロシア、黒海沿岸地域にもう一つの「凍結された紛争」や未承認国家を作り出しているロシアなどから解明され、対ロ制裁に動いた国際社会とその影響を受けているロシアの食糧・エネルギー安全保障、ロシアと国境を接するトルコの独自外交も論じられました。(2) “International Efforts to Combat Racism and Xenophobia: Institutional Mechanisms Monitoring Racial Discrimination”（人種差別と外国人排斥に対する国際的取組：人種差別を監視する制度的仕組）では、国際人権保障の制度とメカニズム、人権差別撤廃条約に基づいて設立された人種差別撤廃委員会（CERD）の選出委員として実際に担当された事案について、講義が行われました。学生は、なかでも、個人からも CERD へ人種差別問題を通報できることや、重大な人権侵害がおきている国との根気のいる対話について注目したようです。新型コロナで留学中止が続いていただけに、対面での英語による講義は学生にとって新鮮かつ留学模擬授業の機会ともなり、質問や議論が（英語で）活発に繰り広げられました。

最後に、2023年2月6日にトルコ南部で発生した大地震被害に対する義援金活動へのご



協力に、心より感謝を申し上げます。地震発生直後からクット先生、トルコ人留学生、在学生とともに広域ヨーロッパセンターで募金活動を実施し、2月8日から2月28日に寄せられた総額 593,836 円を駐日トルコ大使館へ寄付いたしました。その後も学内外のみなさまから温かいお言葉やお励ましが届いています。今後の復興も身守っていきたいと思います。